

第5回新潟ニュービジネス大賞表彰制度 （結果）

大賞： 株式会社ハイサーブウエノ

「自社ブランド商品を捨てるビジネスモデル ～麺水切り機開発～」

（実施概要）

1 目的

単独若しくは第三者と連携した新事業・活動により、革新的な商品・サービスを市場に提供している企業及び個人等を表彰することによって、新事業創出促進の一契機とし、新潟県の地域産業の活性化、ひいては我が国の経済社会の発展に資することを目的とする。

2 主催 一般社団法人新潟ニュービジネス協議会（事業創造委員会）

3 協賛

(株)大光銀行、(株)日本政策投資銀行新潟支店、(株)イタリア軒、(株)ウオショク、
(株)エデュースホールディングス、(株)NSGアカデミー、コニカミノルタNC(株)、
(株)ジェイ・エス・エス、(株)事業創造サポート、(株)鈴木コーヒー、(株)ソルメディエージ、
(株)第一印刷所、つばさ税理士法人、(学)新潟総合学院、(株)BSNアイネット、
(株)プライムネット、(株)みらいアシストコンサルティング

4 後援

経済産業省関東経済産業局、(独)中小企業基盤整備機構関東本部、新潟県、新潟市、
(一社)新潟県商工会議所連合会、新潟県商工会連合会、新潟県中小企業団体中央会、
新潟経済同友会、新潟県中小企業家同友会、新潟日報社、日本経済新聞社新潟支局、
(公社)日本ニュービジネス協議会連合会、(公財)新潟市産業振興財団、
(公財)にいがた産業創造機構、新潟市異業種交流研究会(協)、
新潟市ソフトウェア産業協議会、(協)新潟県異業種交流センター

5 表彰対象

新潟県内において、新事業・活動(起業、第二・第三創業等)を展開している企業、LLP、NPO 等若しくは個人(但し、企業の場合、上場・公開企業は除く)

6 審査基準

◇事業・活動の新規性、革新性(商品・サービス若しくは提供システムの新規性、革新性)

- ◇当該事業・活動の実績(収益性、成長性)、並びに将来性
- ◇経済・社会、地域への貢献度、波及効果
- ◇アントレプレナーマインド(起業家精神)
- ◇財務の健全性等

7 応募方法

応募申込書及び添付資料を事務局に提出

・添付資料

- ① 当該事業・活動等 に関する新聞・雑誌等での紹介記事
- ② 会社、団体等の活動に関する案内パンフレット類

8 審査方法

第1次審査 応募書類による審査（事業創造委員会にて）

第2次審査 面接・プレゼン審査

9 2次審査委員

佐藤 健之委員長（（一社）新潟ニュービジネス協議会顧問）

平松 庸一（新潟大学人文社会・教育科学系大学院技術経営准教授）

長谷川雄一（新潟市異業種交流研究会協同組合理事長）

百合岡 雅博（（公財）新潟市産業振興財団ビジネス支援センター統括プロジェクトマネージャー）

山田 眞一（（一社）新潟ニュービジネス協議会副会長）

10 実施スケジュール

平成29年10月 「にいがたBIZEXPO 2017」において募集開始

平成30年1月31日 応募書類提出締切

2月上旬 1次（書類）審査（5社）

3月9日 2次（面接・プレゼン）審査（5社）にて、大賞1社決定

5月31日 結果発表及び表彰式

（平成30年度（一社）新潟ニュービジネス協議会定時総会にて）

11 審査結果

◇新潟ニュービジネス大賞 1社（賞金10万円） 株式会社ハイサーブウエノ

[JNB主催第13回ニッポン新事業創出大賞表彰制度への推薦 2社]

株式会社ハイサーブウエノ

株式会社バウハウス（まちごと美術館ことごと）

以上